# 令和9年度　当初予算重点施策説明書

当初予算提出時点(査定前)

## 消防本部

(単位:千円)

| 款 | 項 | 目 | 細目 | 細目名 | 概　　要　　説　　明 | R9当初予算額 | R8当初予算額 | R9当初予算額の財源内訳 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 国県支出金 | 市　　債 | その他 | 一般財源 |
| 消防課 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 日勤救急隊の運用開始 | (日勤救急隊創設事業)<br>救急出動需要の増加に伴い延伸する出動困難時間に対応するため、出動が集中する日中の時間帯をカバーする救急隊(日勤救急隊)を創設し、令和9年度から運用を開始します。 | | | | | | |
| 9 | 1 | 1 | 24 | 応急手当普及関係費 | 市民による救急蘇生法の効果を高め、一層の救命率向上を目指します。<br>(1)e-ラーニングやリモート講習の推進<br>(2)社会に出るまでの間に、AEDの使用方法を含む救急蘇生法を習得させるため、小学校6年生、中学校2年生、高校1年生に対して救急講習の実施<br><br>AEDを適正に維持管理し突然の心停止に対する救命率向上を目指します。<br>(1)24時間使用可能な設置場所への見直し<br>　(令和8年10月31日現在　設置率87%) | 7,700 | 6,885 | | | | 7,700 |
| 9 | 1 | 2 | 2 | 非常備消防事務費 | (学生消防隊創設事業)<br>YIC中京学院大学の移転開学により、大学内に学生消防隊を創設し、令和9年7月から運用を開始します。<br>令和8年度当初予算1,590千円、県補助金795千円(1/2) | 24,028 | 21,305 | 795 | | 33 | 23,200 |
| 9 | 1 | 3 | 9 | 自動車購入費(単独) | 消防力の充実強化のため、笠原消防署に配備している笠原1号車　水槽付き消防ポンプ自動車(平成18年配備　20年経過)を更新します。 | 85,411 | 6,005 | | 27,600 | 1,000 | 56,811 |
| 9 | 1 | 3 | 35 | 消防救急デジタル無線設備更新関係費 | 災害時における指示伝達及び情報共有等に重要な消防救急デジタル無線が10年(平成26年度から運用開始)を経過し老朽化、引き続き安定した無線交信を維持するために基地局の回線制御装置など主要な機器の部分更新を行います。 | 129,008 | 1,980 | | 122,800 | | 6,208 |

| 款 | 項 | 目 | 細目 | 細目名 | 概　　要　　説　　明 | R9当初予算額 | R8当初予算額 | R9当初予算額の財源内訳 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 国県支出金 | 市　　債 | その他 | 一般財源 |
| 予防課 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備が未設置の重大な消防法令違反のある約45の建物に対して、三署と協同し設置に向けた是正指導を行い、火災による被害を軽減し、市民が安心・安全に暮らせるまちを実現します。 | | | | | | |